



NPO 法人 流山市国際交流協会

NIFANEWS

発行：特定非営利活動法人

流山市国際交流協会

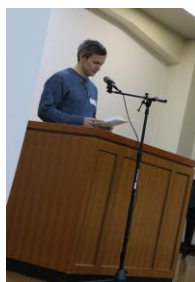
〒270-0111 流山市江戸川台東 1-4 3F

国際理解サポートセンター内

☎：04-7128-6007

Email:nifa-support@bz04.plala.or.jp

多彩な活動の交流それは新たな NIFA の息吹-今年度は交流パーティーで締めくくri-



木村ガンさん（ベトナム）（右）とジョエル・チャドレイさん（イギリス）（左）
母国との違いに苦労、
でもその先にあるものを見つけました

今日は「雨水」、春の予兆を感じさせるこの日、NIFA はそろそろ年度終い。初石公民館で締め括りの会を催しました。

今までの成果発表や活動の一端を披露する会プラス、会員が交流する場に模様替え。140 名を超える参加者は、金淑花さんの講演に頷き、一生懸命学んだ日本語のスピーチに心打たれ、「世界で一つだけの花」の中国語に感嘆し、ゲームに興じ、「答えは、風に吹かれている」と声を和す2時間半でした。

ホールの外では「海外での思い出の写真展」を開催。思い出の込められたコメントと写真は魅き一杯。さながらミニギャラリーでした。交流の場を通じて、活動が横につながり、コラボし、イノベーションが生まれ、NIFA の新たな力になればいいな、そんな思いを抱かせる会でした。(2017.2.18. 土)



30 点を超える作品とコメントには、芸術性、話題性、ユーモア、名勝、人生のエピソードなど満載。惹かれました



事業部の枠を外したテーブル配置に会話は次第に弾み、発表には目と耳を傾けました



私たちは「多文化共生」の中にいます



中国語の授業はこの歌の練習でした

NIFA 交流パーティー

平成29年2月18日（土） 13:30～

会場：初石公民館 ホール

- 1 開会挨拶 会長、市長
- 2 文化交流事業部 (ワーハモ)
- 3 日本語講座事業部 (受講生のスピーチ)
- 4 ホームステイ事業部 (活動報告)
- 5 本部イベント報告
- 6 外国語講座事業部 (中国語で歌う)
- 7 文化交流事業部 (木蘭扇)
- 8 外国語支援事業部 (活動報告)
- 金 淑花 (多文化共生研修報告)
- 9 ゲーム (○ × クイズ)
- 10 みんなで歌おう

(B.D デイリ)「風に吹かれて」を英語で

ホームステイ歓迎会 2016.12.10. 土ーホームステイ事業部ー

～～暖かい国、タイからのお客様～～



暖かい国のタイから流山に10人の学生がやってきました。我が家には2人の女の子。とにかく日本の寒さに驚いていました。ちょうど近くの小学校でのイベントに参加させていただき、餅つきを体験したり、つくたてのお餅や豚汁を食べたり、日本の古典芸能を鑑賞して、楽しいひと時を過ごすことが出来ました。その後、ウェルカムパーティーではタイの踊りを一緒に踊ったり、南京玉すだれやゲームをしたりと…いっしょながらホームステイ委員会のメンバーの底力、チームワークの良さを実感しました。

初めてホームステイを受け入れてから20数年、沢山の学生に出会いましたが、アジアの学生は総じて素朴で控えめ、昔の日本のように感じられます。今回も品川で行われた歓送会では涙の別れが待っていました。本当に素直でかわいい2人でした。

山崎美枝子（ホームステイ事業部）



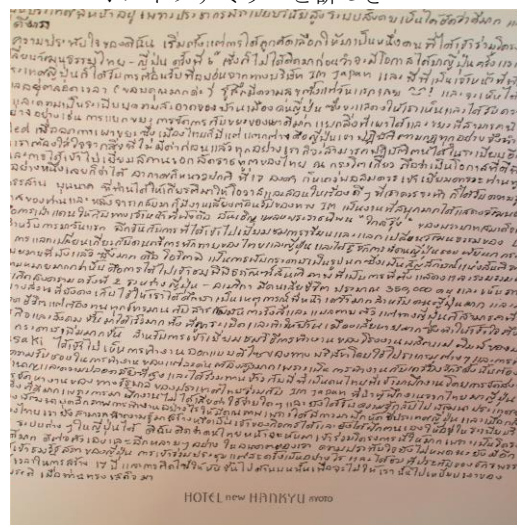
ホストファミリーと餅つき

素晴らしい体験をありがとう！

こんにちは、私はマニサーと申します。12月9日から11日まで流山市でのホームステイのホストファミリーと2泊3日間生活を体験させてきました。最初は緊張しましたが、ホストファミリーから暖かく歓迎していただいて緊張感がなくなって泊まる部屋もとてもよく、美味しい料理に連れて行っていただいてとても嬉しかったです。それから歓迎パーティーまで開いていただき、とても楽しかったです。ホームステイの生活では、家事をいつも手伝っていました。タイでも同じです。お互いに助け合うことは大切だと思っています。そして日本語とタイ語を教え合ったり、着てみたかった着物も着ました。私からタイのシルクから作られた「パーカオマー」を渡したら、ホストファミリーはとても喜んでくれました。最後の日にすぐ着てくれて「素敵」と声をかけた時のホストファミリーの笑顔は忘れられません。

私の感想はまだまだたくさんあります。今回の体験したことを他の人に伝えたい。特に日本は時間を守り、決まったことをきちんとやるというような規律についてです。そして海外の言葉がわかれば、世界を広げられることがわかりました。今回素晴らしい体験ができてありがとうございました。

Miss Manisa Rattanawong
Phon Thong Community Education College



タイ文字の一部です、お花のように綺麗ですね
左のタイ語を日本語訳された方はIMJapanの
伊藤典子様です。

キッズ★クリスマス★パーティー

2016.12.10 ー国際交流サロンー



～～こどもも大人も楽しめたアットホームなクリスマス～～

クリスマス・イヴまであと 2 週間、街はすっかりイルミネーションに彩られ、年末のせわしなさと喧噪の入り混じった空気。でもここキッコーマンアリーナの一角は、落ち着いた、アットホームなたたずまいでキッズたちがパーティーを楽しみました。題して「キッズ 英語でクリスマスパーティー」、3 才から小学校低学年までおよそ 20 名のこどもたちとお母さんが参加。

会は ALT をされているカルネラ菊池さん他 3 人の小学校の英語サポーターの皆様を中心に進められ、子供たち全員一緒に、時にグループで、クリスマスの歌やゲームやキャンドル作りに興じ、始めは見知らぬ子どもたちもすぐに一つのともだち仲間に。よく準備され、途切れの無い、次々に子供たちを惹きつける進行は大人も大変楽しめるもの。無論英語も沢山、でも無理なく自然に子供の中に入り込めるようなプログラム。

クリスマスはこどもにとりファンタジックでいつまでも記憶に残るもの、加えて英語にも自然に触れたこのパーティーは、彼らの心から国の境目を取り払う効果も生むことになるかもしれません。当日は I M Japan (国際人材育成機構) を通じて当市にホームステイしていた

タイからの学生の方 4 名も加わり、とても国際的なパーティーでした。NIFA にとり子供を対象にした初めての企画でしたが、お母さんたちからも好評、そしてこれからも英語に触れるイベントの要望もあり、こちらも素敵なクリスマスプレゼントをもらったような心地でした。



国際交流会 (流山小学校にて)

2017. 02. 03



2 月 3 日 (金)、流山小学校で「国際交流会」が開かれ、NIFA が依頼により 5 人の外国の方をお連れしました。同小学校では毎年恒例の行事、3 年生の総合的な学習『世界の国々を知ろう』の一環として行われたものです。

当日は 5 人の講師がそれぞれの教室に分かれ、集まった児童はその講師の国のことについて学ぶ場となりました。着るもの、食べるもの、スポーツ、ゲーム、習慣、制度など子どもたちの関心は一杯。

講師たちも伝統衣装を着たり、質問コーナーやクイズコーナーを用意したりなどその国を身近に感じてもらう工夫が沢山。「ああ 知ってるー」とか「ええ 本当？」といった素直な歓声も交じり、30 分が短すぎるほどでした。(子どもたちは 2 つの国の学習をしました。)

これは学校生活のほんの一コマ。でも子どもたちのキラキラ光る眼の輝きを見ると、大人になってからもきっと記憶に残るのでは、という印象。そしてみんな世界に橋を架ける人になって欲しいと願いながら校門を後にしました。講師の皆様を紹介します。チョウさん (台湾) テイさん (中国) ジョエルさん (英国) キムさん (韓国) クリスチャンさん (カナダ)



樊 秋菊（ハンシュウギク）さん

～ 初めての授業：「幸せなら手をたたこう」～

Q: 樊さんは古くから NIFA の会員であり、中国語の講師を務めて頂いていますが、いつ頃からどのような関わりで NIFA をお手伝い頂くようになったのでしょうか？

樊: 私は心から NIFA に感謝しています。

私は 1998 年 10 月 30 日にこの街に引っ越してきました。当時私は日本語が十分でなく、友人は一人もいませんでした。そこで早速市役所に、国際交流協会を探しに行きました。私は中国の教育科学の研究員です。ですから、日本語は十分ではありませんが、教えることは専門です。是非流山市民と仲良くなり、そのような気持ちが強くありました。そこで私は教育委員会に赴き、その思いを伝え、「是非チャンスをください。」と頼みました。早速担当の方は国際交流協会のことを教えてくださいました。

先ず私は日本語教室に入り、当時の佐藤元子会長と出会いました。場所は北部公民館です。当時先生は四人、生徒は私と娘の二人でした。それから NIFA との縁も深まり、中国語の講座を始めることになりました。最初なので年 5 回のミニ講座です。応募は往復ハガキで受け付けました。定員 30 名のところ 48 人から 50 人くらいの応募がありました。でも全員参加しました。杉浦会長や石井さんご夫婦、伊藤さんは皆一期生です。

全員初めての授業は「幸せなら手をたたこう」でした。みんな喜んでくれました。町ではたくさんの人が私を覚えてくれました。それから今日まで続けてこられました。

皆さん一生懸命勉強してくれました。今も続けている方もいますし、別のサークルを作って輪を広げた方もいます。

～ 楽しみを味わうのが勉強 ～

Q: 中国語というと「四声」がむずかしそうだとか、高校では漢文の授業があり、レ点など一通りの読み方を習ったのですがそこでおしまい、英語などに比べてとっつきにくいという印象です。これは誤解でしょうか？

樊: はい、誤解です。私は最初から発音だとか文法といったことから始めるのをやめました。言葉は空気のようなものです。子供は文法が分からなくても自然に話せるようにな



ります。だからもし私が最初の 5 回の授業で「ああ↑」とか「ああ↓」といった発音ばかりやっていたらつまらないし、大失敗したと思います。

日本語と中国語が似ているのは漢字です。90%は同じです。違うのは発音、この発音を身に着けるのは耳、耳の訓練が必要です。慣れです。そして慣れるための勉強は楽しいことです。人間は楽しいことがなければつまらない、楽しみを味わう、これが勉強で大切です。

私は歌が大好きです。歌は世界の共通語です。歌を歌いながら「ああ、このように表現するのか」ということもわかり、漢字も自然に覚えます。その楽しい時間、それを私は大切にしたいと思います。『心から』楽しむことが大切だと思います。そして言い方にはこのようなルールがあるということを徐々に、少しずつ学んでいけば吸収できると思います。これが私のやり方、考え方です。

Q: 確かに最初から細かい発音や文法だとか始めたらそこでストップになりがちですね。

樊: そうです。まず一步を踏み出すやり方が大切です。

Q: 言葉は意思疎通の手段だとすれば、日本語で普段しゃべっていることを中国語ではどう言うの？といったことを積み重ねていくと割合抵抗なく続けられるようになる、ということでしょうか？

樊: そうです。そしてその内容は実用性が大切だと思います。使えそうな、役立つ内容が大切です。言葉は使うのが目的、だから限りある時間の中では要らないものを吸収する意味がありません。ですから私たちは 10 回の講座のあとレストランに行きます。またそのあと旅行に行きます。旅行の前にはミニ講座で場面を考えた言い方を練習し、実際に旅行先で使ってみます。

これは文化にも触れ、自分が今迄学んだことを試すチャレンジのよい機会でもあるのです。この喜びはとても重要だと思

います。

Q:今まで教室で学んだことを実際外に出て使い、意思疎通ができたことを実感できた喜びは大きいですね。

樊:そのとおりです。そして私は回りの方に感謝の気持ちが一杯です。私にとっても色々な年齢の方が一生懸命学ぶ姿を見て、人生の勉強になっています。ボランティア活動などされている様子から学ぶものはあり、力になっています。

～ 一生懸命学んだ日本語が役立つのは嬉しい ～

Q:NIFAの他に何かお仕事や活動をされていますか？

樊:日中友好協会で文化交流のため、中国語を教えています。また料理が趣味で100%中華料理でもなく、100%和食でもない両方をアレンジした『健康料理』を創作しています。都内で料理研究家「樊秋菊」として教えたこともあります。おいしい、健康、作るのが易しい、安い、がモットー、私も日本語が少しは話せるようになりましたから、中国語を話せない日本人のための、料理を通じた講座でもあるのです。私、パンも大好き、なのでパン屋さんでも働きました。そしてパン屋さんはカタカナが一杯、カタカナを勉強しなければパンの作り方もわからず、仕事になりません。日本社会のいい勉強にもなりました。それから病院でも仕事をしています。日本語を話せない外国人の患者に付き添い、診察から薬局で薬をもらい、その薬をどうやって飲むか、まで通訳のサポートをします。私が前に病気をしたときに直してくれた恩返しのためでもあります。市役所を通じて病院付き添いを頼まれることもあります。そして自分が一生懸命学んだ日本語がここまで役に立つことがとても嬉しいのです。

私の人生幸せです。このような沢山の体験をするとは思っていませんでした。

～ 言葉の習得を通じ広がる知己 ～

Q:ところで樊さんはエスペラント語を勉強されているとお聞きしました。

樊:はい、有名なエスペランティストですよ。

Q:今も続けていらっしゃるのですか？

樊:もちろんです。そして独学です。

今もエスペラント語を通じて世界のエスペランティスト達と交流しています。

樊:いえいえ、英語が理解できれば4時間でOKです。達人になります。発音はローマ字、だから暗記の必要はありません。文法、語順は英語と全く同じです。

Q:エスペラント語は普段使われない言語なので勉強が必要でしょう？

樊:はい、でも世界で一番易しい言葉です。

Q:そうですね？大変難しい言語という印象ですが。

世界で一番難しいのは日本語です。語順が反対だからです。私はライターであり、文章を書くのが好きです。独学のエスペラント語をブログに載せ、世界の方たちと交流しています。この交流のお陰でアメリカやヨーロッパにも行きました。ドイツでは記事にしてくれ、ポーランドではテレビで中継もされました。エスペラント語で書いた歌も世界大会で発表しました。今教材として使っております。エスペランティストには社会に貢献する人が沢山います。そもそも「エスペラント」とは『希望』という意味です。1年後にはスピーチコンテストで発表したいと思っています。またエスペラントを学ぶ人の中に14か国を話す人がいます。この方と知り合いになり、とても刺激を受けています。どうやって14か国語をマスターしたのか、そのチャレンジスピリットに感銘しています。

この「希望」の言語にチャレンジすることによって、自分の潜在能力を発見し、とても幸せを感じました。日本語は、働きながら学ぶ大切さを知りました。

NIFAには恩返ししたいですし、できることがあればいつでも言ってください。

Q:貴重なお話をどうもありがとうございました。

(聞き手：西山勝、2016年11月17日)

取材中、樊さんは微笑みを絶やさず、流山に移られてからのご自身のことを、熱意を込めて語ってくださいました。生涯学び続ける姿勢の大切さ、学ぶことの楽しさ、労苦を厭わない姿勢、そこから何度も発せられる「感謝」、「恩返し」という言葉にとっても感銘を受けた50分でした。

五十分钟的取材中、小樊一直微笑着充满热情地和我谈来到流山市以来自己的事情。从一生要不断努力学习的重要性，学习中感受到的快乐，到不厌付出辛苦的学习态度都做了具体的说明。言谈中，她多次说到的“要感谢”，“要报恩”的话语，给我留下了深刻的印象。

(中国語訳：樊 秋菊さん)

日本語お楽しみ会 2016.12.14

—日本語講座事業部—

～今年も盛り上がったポットラックパーティー～

12月14日、中央公民館で年末恒例の「お楽しみ会」開催。日本語講座スタッフの皆様と受講生が一堂に会し、和やかなひと時を過ごしました。当日は参加される皆様、それに自慢の手料理、腕によりをかけた逸品を持参。buffetテーブルは和食、中華、洋食、エスニックのお皿でギュウギュウ。彩や味を楽しみながら、母国語同士の会話、日本語の会話がにぎやかに飛び交



い、クロスカルチャーの場となりました。参加された受講生は欧米系、アジア系の方、滞在歴の長い方、短い方など様々。多くの方が「日本語は難しい」といわれながら一生懸命練習し、伝えようとする姿勢がスピーチからも感じられます。無論学ぶことは楽しい、と皆様が感じるのは日本語講座事業部の皆様の後押しと、受講生とのよき繋がりがあつてのこと。

互いに学びあえた歓びを分かち合い、努力を讃えあう1時間半ほどはすぐに過ぎていきました。

←写真はbuffetテーブルに並んだ持ち寄りのお料理

中央公民館祭り 2017.02.12

—文化交流、日本語講座事業部—

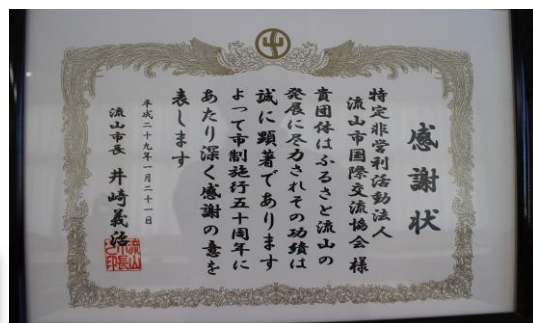
～～日本語講座の展示と「木蘭扇」でNIFAをPR～～

テーマは、「きて！ みて！ さわって！ あじわって！」。ここで活動を行っている団体の成果発表や、色々なイベントを通じての市民との触れ合いの場。NIFAの日本語講座事業部はここで毎週水曜日に、外国の方向けに日本語講座を開講しており、その授業風景や、受講生を交えた交歓会風景の写真、教材を展示。併せて料理教室やキッズクリスマスなど国際交流サロンの写真も展示。ホールでは文化交流事業部が「木蘭扇」の舞を披露。胡弓が奏でる中国のメロディに乗せた洗練され且つ流麗な『太極養生舞』や、色鮮やかな中国の衣装にジャスミンの優雅な香りたつ美しい『茉莉花』の舞いは、ロビーの賑わいと隔絶された世界を創り出していました。



NIFA が流山市から感謝状を授与されました - 市制 50 周年記念 -

- ◇ 流山市は今年の1月1日に市制50周年を迎えました。
- ◇ これを記念し、これまで市内で広く市民生活に資する活動を行ってきた個人、団体がその功績、功労を認められ顕彰されました。
- ◇ 1月21日(土)、流山市文化会館にて記念式典が開催され、多数列席の中、NIFA を代表し杉浦会長が参列、井崎市長から感謝状が贈呈されました。
- ◇ 当市は近年多くの人が移り住み、コミュニティに広がりを見せています。私たち NIFA の活躍するステージも益々広がりそうです。



近隣のイベント・会合参加レポート

1. 我孫子市国際交流協会（AIRA）創立 25 周年記念式典

- | | |
|---|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ➤ 何時 : 2016 年 11 月 27 日 (日) ➤ どこで : あびこ市民プラザ | <ul style="list-style-type: none"> ➤ 出席 : 杉浦会長、小谷副会長 |
|---|---|

2. 鎌ヶ谷市国際交流協会（KIFA）パーティー



英語教室の子どもたちの歌とゲームの発表
土曜日の午後楽しく練習しています

- 何時 : 2016 年 11 月 27 日 (日)
- どこで : 鎌ヶ谷市総合福祉保健センター
- 出席 : 中橋部長、西山部長
- 内容 : KIFA の PR 活動の一環として会員非会員を問わず飲食（アジア系の屋台）やアトラクションで楽しんでもらう。参加は有料。
- 感想 :
 - アトラクションと飲食の屋台などに国際交流協会の色彩を出しながらも、誰でも参加でき、ミニ市民まつりの様相でした。
 - キッズ向けの英語教室主宰は NIFA にも参考になると感じました。(西山)

3. 東葛地区国際交流協会連絡協議会（2016 年度 第 2 回）

- | | |
|---|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ➤ 出席 : 杉浦会長、中橋部長 ➤ 何時 : 2016 年 12 月 16 日 (金) ➤ どこで : あびこ市民プラザ | <ul style="list-style-type: none"> ➤ 内容 : NIFA の他、我孫子、柏、野田、鎌ヶ谷各市の国際交流協会が集まり、互いの情報化交換を行います。幹事は持ち回り、今年度は我孫子市。 |
|---|--|

沖縄国際交流協会の皆様 WELCOME to NIFA 「有朋自遠方来 不亦楽」

1月20日(金)、沖縄市国際交流協会(OCIA)のお二人と同行の沖縄市文化芸能課の方お二人が来訪されました。/ NIFAは杉浦会長、小宮副会長、中橋部長の他各事業部の方がお迎えし、当市の企画政策課の方お二人も加わりました。/ 最初はお互いの自己紹介や町の紹介、ぎこちない静けさも話が本題に入るとすぐに活発な情報交換会に。/ NIFAはサポートセンターの役割、外国語講座、ホームステイ、外国出身者、児童への日本語指導、国際交流やサポートに関わる内容などについて紹介。/ OCIAからは地域柄多国出身の方が居住していること、組織運営上沖縄市とは市民サービスの点で密接な連携にあることなどが紹介されました。/ これからの活動のアイデアが増えそうです。(外国語講座事業部: 湯浅志保)



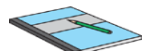
前列4人の方がOCIAと沖縄市文化芸能課の皆様
この冬一番の寒さ、小雪がちらついていました

災害に遭ったとき、あなたは回りに外国の方がいることに注意が払えますか？



NIFA会員の金淑花さんがお住まいの星和江戸川台自治会が、年末の12月3日に防災訓練を実施しました。この機に合わせ、多文化共生マネージャー全国協議会理事の高橋伸行氏の講演が行われました。題して「熊本地震から学ぶ防災、多文化社会の災害に対する考え」。/ 災害時にはその地域に在住または来訪している外国人も被災します。避難所での生活では常識と思われる事が伝わらない事でトラブルが起こると話されていました。/ 情報がきちんと伝えられるよう、地域に住んでいる外国人とは日頃からコミュニケーションを図ることが大切です。また災害時には、外国人が直面する「ことば」「制度」「こころ」の壁が現れるということを理解する事が大切だと感じました。/ この訓練に対し、多文化共生の点からNIFAが後援し、杉浦会長、中橋部長、大塚和雄さん、森田洋一さん、長田が参加しました。(外国語支援事業部長 長田麗子)

会議の開催案内 (理事、正会員の方には別途開催通知状、招集通知状をお送りします)



理事会開催案内 1

- 日時: 平成29年3月25日 10時00分から
- 場所: 市民活動推進センター
- 議題: 1号議案 講座運営規則及び講座の定め(約款)制定の件
2号議案 研修規程制定の件
3号議案 後援規程制定の件

理事会開催案内 2

- 日時: 平成29年4月15日 10時00分から
- 場所: 市民活動推進センター 第1会議室
- 議題: 第6回通常総会開催及び付議事項決定の件

第6回通常総会開催案内

- 日時: 平成29年4月22日 10時00分から
- 場所: 流山市中央公民館 第1、第2会議室
- 議題: (詳細は別途招集通知を参照ください)
 - 平成28年度事業、決算各報告
 - 平成29年度事業計画、予算決定の件
 - 役員選任の件

編集後記

- ◇ 今年度最後の「NIFA NEWS」が予定の紙幅を超えてしまいました。嬉しい悲鳴です!
- ◇ 是非感想を!! (西山 三嶋)